

会議議事録（要旨）

会議の名称	令和6年度 第1回三豊市男女共同参画社会づくり推進協議会
開催日時	令和6年7月31日（水）10:00～11:38
開催場所	みとよ未来創造館2階 会議室A・B
出席者氏名	山神委員、北川委員、久保田委員、真鍋委員、中嶋委員、田中（昭）委員、小林委員、佐藤委員、宮崎委員、石川委員、藤田委員、瀧本委員、高橋（舞）委員
欠席者氏名	田中（元）委員、高橋（寛）委員
事務局職員氏名	市民環境部 米谷部長、人権課 高木課長、高木主任
会議次第	1 開会 2 委嘱状交付 3 副市長挨拶 4 委員及び事務局自己紹介 5 議事 （1）第4次三豊市男女共同参画プランの令和5年度進捗状況について （2）令和6年度三豊市男女共同参画に関する事業計画について 6 閉会
配付資料	議題資料1－1 第4次三豊市男女共同参画プランの進捗状況 議題資料1－2 第4次三豊市男女共同参画プランに掲げている目標に対する状況（令和5年度実績） 議題資料1－3 第4次三豊市男女共同参画プラン施策の具体的取組状況一覧（施策体系別：令和5年度実績） 議題資料2 令和6年度の主な男女共同参画に関する事業計画 参考資料1 三豊市男女共同参画社会づくり推進協議会 委員名簿 参考資料2 三豊市の男女共同参画の推進体制 参考資料3 三豊市男女共同参画社会づくり推進協議会設置条例、三豊市男女共同参画推進条例 次第、「第4次三豊市男女共同参画プラン」冊子、「第4次三豊市男女共同参画プラン」概要版
その他	総務課、危機管理課、秘書課、人事課、産業政策課、健康課、介護保険課、保育幼稚園課、福祉課、子育て支援課、農林水産課、学校教育課、生涯学習課 出席 傍聴者1名

議事内容（要旨）	
事務局	・開会 ・出席者確認 ・委嘱状交付 ・副市長挨拶
各委員、事務局	・自己紹介
事務局	・会長、副会長選出（山神会長、北川副会長）
山神会長、北川副会長	・挨拶
事務局	・会議の公開について説明
山神会長（進行）	・議事に進む前に、会議の公開について確認させていただく。（異議なし） ・議題（１）第４次三豊市男女共同参画プランの令和５年度進捗状況について、事務局より説明願いたい。
事務局	・配付資料確認 ・議題資料１－１、１－２、１－３説明
山神会長（進行）	・質問や意見を頂戴したい。
瀧本委員	・令和５年度の達成状況で△のものが２つ。１つ目№15であるが、「推進条例を知っている市民の割合」の目標値は５０％。リーフレット等の配布を取りやめたということであるが、今はＳＮＳへの移行も進んでいるし、二十歳の方が対象となると、チラシを配っても読むことなく捨てられるのかなということ、そうしているという解釈でよいか。 ・経営者向けセミナーだが、参加者数、どういう職種の人が参加しているか、ここ数年の推移を含めて教えていただきたい。 ・図書館と共催の企画展は、非常に良い企画ではないかと私も思う。参加者の反応というかどんな様子だったかをお聞きしたい。
山神会長（進行）	・３つほど、人権課を中心に説明をお願いする。
事務局	・１点目の『「三豊市男女共同参画推進条例」を「知っている」市民の割合』について、項目としてはⅡ－３－（１）－アになる。二十歳の集いにおいて紙配布をやめたということで令和５年度は達成できなかった。今後は、配布方法等を検討しながら啓発に努めていきたいと考えている。
瀧本委員	・今後も配布していくのか。
事務局	・配布とか市ホームページへの掲載とか、方法を検討しながら進めていこうと思う。
瀧本委員	・配布もある程度はしていくべきでないかと思う。ＳＮＳとの両輪でやった方がいいのではないか。全くやめるというのも、本当の効果の程はどのくらいかわからないが、配布することがＰＲになると思う。

議事内容（要旨）	
事務局	・ 2 点目、令和 5 年度経営者向け女性活躍推進セミナーについては、案内を企業人権という市内企業 130 社ぐらいが加入している会の会員に送った。また、男女共同参画推進ネットワーク会議にも案内した。令和 5 年度は 71 名が参加した。これ以前については、コロナ禍でもあり定員を多く設定していなかったため、30 人から 40 人ぐらいであった。
瀧本委員	・ 講師の名前も出ていた。
事務局	・ 講師は大阪教育大学の教授であった。
瀧本委員	・ 次は図書館。
生涯学習課担当	・ 企画展は、毎年、人権課と協力して開催している。特に企画展を目がけて来館される方は少ないかもしれない。男女共同参画の冊子とか L G B T 関係の冊子などを展示しており、来館者は手に取って見たり、実際に貸出しにつながったりしている。
山神会長(進行)	・ 他にないか。
佐藤委員	・ 私も、成人の目に配られないのは残念だと思う。配られていたら、家でもその話のできたのでないか。効果は分からないが、成人式でもらったものを見ようと思う子が少しでも増えたらいいのかなと思う。 ・ S N S の活用を広報の中で考えていないのか。広報やホームページの活用はすごくしていると思うが、他にインスタとかの S N S で発信できないか。ハッシュタグで検索して、誰か見てくれる人がいればいいと思う。 ・ No.48、自立の支援のところで、外国人の相談窓口をホームページに掲載しているとあるが、ホームページは日本語だけか。外国人の目に付かないと相談できない。多言語のホームページになっているのか。何か、外国人にも目に付くような施策をしているか。 ・ ワーク・ライフ・バランスのところで、企業向けの施策があまりない。No.36、参画の推進、仕事と子育ての両立支援のところで、学童の時間を今年度から延長している。長い子は 1 日中学童にいる。熱中症警戒アラートが出ると外遊びもできない。狭い部屋の中で 11～12 時間もいるのは子ども的にどうなのか。こういうのは、お母さんお父さんの力ではどうしようもなく、企業の力がないとできない。市として企業を応援できるようなものがあればいいと思う。情報提供に関しても、市が企業向けのオープンチャットをしているが、これの活用とかを考えていないのか。今は、お母さんだけでなくお父さんたちもしんどい思いをしている。育児に積極的に参加しているお父さんもたくさんいる。アプリを使ってミルクを飲んだ量とかお昼寝の時間とかをお母さんと共有している。こういった中、社会とのバランスで悩んでいるお父さんがたくさんいる。有休を取りたいけど会社が取らせてくれない。仕事を今までと同じようにやって、家でも子育てをしないといけない中で、役割がたくさんありすぎる。家事役割ストレスというのになっている。お母さんと同じくらいつになるお父さんも多い。これは、お父さんお母さんの力だけではどうしようもない。企業がどうやってうまくやっていくかがすごく大事だと思っている。企業向けの政策をもう少し深めていただきたい。

議事内容（要旨）	
山神会長(進行)	・関係課、どうか。
秘書課担当	・SNSの発信については、市では公式ラインアカウントを立ち上げており、各課に発信をお願いしている。 ・外国人向けのホームページについては、日本語を含めて13言語で対応している。皆さんを網羅できているとは限らないかもしれないが、市内に在住する上位の外国人を選定した結果である。
産業政策課担当	・企業向けの情報発信については、おっしゃるとおりホームページとかでは弱い。ラインのオープンチャットが現在106名の参加なので、こういったものを活用する。届かなくては意味がない、特に経営者層に届かないと意味がないので、オープンチャットを活用しながら進めていきたい。 ・産業政策課の新たな取組として、ちょうど来週、子育て応援就職説明会をハローワークと共催で行う。ハローワークも子育て応援求人というのを設けており、そういった企業に参加していただき、説明会の会場に110スペースを準備して、子育て中の人も気軽に参加できる形で就職支援につなげられるよう企画した。今後もこういった企業向けの取組を進めていきたい。
山神会長(進行)	・途中で例があった延長保育の子どもたちに対する対応にも、企業の協力があったという話があった。まさに気候変動が目の前に来ている。施設のことも含めて、子どもたちのために今後対応する必要があると思うが、どうか。連携にあると思うので、別の課でもよい。これは私から、延長保育の施設について今後どう考えるか。
子育て支援課担当	・子育て支援課では放課後児童クラブを管轄している。夏休み、昨年度までは8時から夕方6時までの預かりであった。今年度から時間延長で、夏休みであれば朝7時半から夕方6時半までになった。熱中症のアラートが出ている状態で、部屋に閉じこもって、夏休みは人数も増える中、外は大変だと思う。夏休みが始まる前に学校とも話をして、預かり施設の部屋数を増やして、子どもが快適に過ごせるように努めている。人数が増え、部屋の中でずっといることで、子どもたちがエネルギー発散できない部分もある。今年度から高瀬にある総合体育館、ここは冷房が効く施設だが、ここで体を動かす形でいくつかの班に分かれてゲームをしたりとか、他の小学校の子と交流できるようなイベントを計画したりしている。いろいろな形を踏みながら、子どもの健全育成のために努めて参りたい。
山神会長(進行)	・よろしいか。
佐藤委員	・子ども家庭庁の方も「こどもまんなか社会」ということで、子どもたちの思いや人権を大事にしようということで、今進めていると思う。子どもたちの人権、親だけの支援にならないように、子育て家庭全体の支援になるように、皆さんで考えていただけたらと思う。
山神会長(進行)	・よろしくお願いします。

議事内容（要旨）	
瀧本委員	・もう1つの△の方、議題資料1－2のNo.17「各種委員会・審議会の女性委員の割合」について、5年度は26.6%、目標は30%。努力をされているのはよく分かっているが、横ばいが続いている。どうしても30%に届かないのは、それなりの理由があるのでないか。女性委員が1人もいない審議会がまだあるのではないか。前にお聞きした時も、2つ3つあったように思う。やっぱり1人は入っている必要があると思う。審議会の性質上、女性が入れない理由があれば教えていただきたい。1人もいない審議会はどういう会か。改善できる余地としては、強く働きかけて入れていただくしかないのかと思うので、その辺りもう一步踏み込んで対策を立てていただけたらと思う。 ・No.18「女性管理職の割合」は24.6%、目標は20%で目標達成しているということだが、今年度末までの目標である。計画を作るときも、ここまでしか出せないとおっしゃっていた。この目標値を新たに設定する必要があるのではないか。担当はどう考えているか。女性管理職が20%というのは、県内では低い方ではないかもしれない。だからこそ、目標をもう少し高く。難しさも分かるが、裾野を広げて、もうちょっとステップアップして25%とか、国並みの30%とか、そのくらいの目標を持ってやっていただけたら。そういう視点も必要なのではないかと思う。 ・「男性職員の育休取得率」が57%。目標を大きく上回っているが、平均何日ぐらいの育休を取っているのか。その内容が問題。休暇の取り方はいろいろあるようなので、何日ぐらい取得している人が多いのか。その傾向を教えてください。57%というのはいいい傾向なので、これが下がることのないように、雰囲気づくり、取りやすい環境づくりをどんどん進めていただきたい。 ・No.24の「有給休暇平均取得日数」は10.2日で、目標は12日。これも難しいこと。仕事はきつくなってきたし、休みたいのは山々だが、実際休めないのが現状と思う。目標に近づける努力が大事。この辺りの目標値の設定を十分に考えていただきたい。
小林委員	・No.18の「市職員の女性管理職の割合」とNo.19「市役所における男性職員の育児休業の取得率」はどちらも上回っているが、評価は○である。何か達成していないことがあるのか。
山神会長(進行)	・重複したものもあるが、まず、審議会等でゼロのものはあるか。
事務局	・令和5年4月1日現在の内閣府からの調査に基づき説明させていただく。条例等に基づいて設置されている会議・協議会等で女性委員のいないものを申し上げる。市町村交通安全対策会議は、委員総数8名だが女性委員はいない。地方文化財保護審議会は、委員総数7名に対し女性委員はいない。市町村国民保護協議会は、委員総数20名だが女性委員はいない。昨年度、三豊市土地開発公社が含まれているが、現在は解散している。三豊市西香川病院事業指定管理者評価委員会は、委員総数11名だが女性委員はいない。三豊市予防接種等健康被害調査委員会は、委員総数8名に対し女性委員はいない。三豊市遺跡発掘調査整備委員会は、7名の総数に対し女性委員はいない。

議事内容（要旨）	
山神会長(進行)	・ 6つの委員会で女性委員がいない。たくさんの協議会が市にあって、中には重複している委員もいる。可能ならば、1人でも増やしてもらいたいという意見なので、検討してくださいということ。
事務局	・ 担当課が委員を決めるので、庁内で女性委員の積極的な登用をお願いするようにしたい。
山神会長(進行)	・ この会議でそのような意見があったということで、お伝え願う。 ・ 後は、内容にもよるが、プラスになっているもの、より高い数値目標をやればよいのでないかということであるが、これについて何かあるか。
瀧本委員	・ 目標設定が今年度末になっているもの、新たに設定したらどうか。
人事課担当	・ No.18 女性管理職の割合について、昨年度の本会で同様の意見をいただいた。まず、令和2年4月に市が事業主として策定した三豊市特定事業主行動計画の中で、令和7年3月までの5年間を定めた計画を作った。その中で令和7年3月31日までの目標値を20%としているが、本年度に来年4月からの特定事業主行動計画を新たに定めるということで、今現在、議論をしている。国は2030年度を目途に30%を超えるという目標を立てている。国は、現状14.1%、15%ぐらい。県内では、令和5年度の数字で三豊市は3位。1位は東かがわ市で、そもそも分母が少ないが、唯一30%を超えている。他自治体の取組状況を参考に、本会の意見に基づき、高い目標数値を設定していきたい。 ・ No.19 男性職員の育児休業の取得率について、昨年度の日数は、長い職員で50日程度、短い職員で3日程度。育児休業法が改正され、パパ育休といって気軽に育休が取れるようになった。対象職員（子どもが産まれた職員）の中で取る割合は多いが、取りやすい環境を推進するために、毎年度、新規採用職員に対してそういった案内をするとともに、職員団体と情報共有し連携して育休の取得を進めている。これも特定事業主行動計画で新たに考えていくが、理想は高く数値を持って行って、そこに向けて動きたいと思っている。具体的な数値は、今議論をしているところである。 ・ No.24 の有休取得日数は令和5年度で10.2日。目標値は、特定事業主行動計画で12日と定めているところ。12日の考え方は月に1回ということで、職員団体とも話をして実施している。県内で見れば上位には来る。先般、人事院総裁が、働き方改革で人事部局の考え方を変えないといけない時が来たという話もした。有給休暇は1年間で最大20日付与。使わなければ翌年に最大20日繰越で40日。20日に近い形で使っていただくのが安心して働きやすい職場、働き続けられる職場につながるので、目標日数を12日よりもう少し高めてもよいのかを議論しているところである。 ・ 目標の達成が○なもの、特に女性管理職の割合については、今回の報告では◎だったかもしれない。申し訳ない。
山神会長(進行)	・ 他に意見、質問はないか。
田中（昭）委員	・ Iの人権の尊重でNo.6と7『「セクシュアル・マイノリティ」という言葉を「知っている」市民の割合』と『「知っている」高校生の割合』について、現状値が55.5、59.2とあるが、この数値はどういう調査を基に出たものか。

議事内容（要旨）	
	・No.1『「セクシャルマイノリティ」の支援者（アライ：a l l y）の登録人数』とあるが、アライの登録というのは、具体的にそういったシステムを作る予定があるのか。
事務局	・No.6、7「セクシュアル・マイノリティ」という言葉を「知っている」市民の割合、高校生の割合だが、第4次プランを作るに当たって、市民にアンケート調査をした結果。毎年のアンケート実施は無理なので、5年後の目標としてこの数値を挙げている。また市民から意見を聞くことを予定している。 ・アライの登録人数は、プラン策定時に目標設定したが、具体的な把握の仕方は検討中。関係団体とも相談しながら進めていきたい。
田中（昭）委員	・アライとは積極的支援者のこと。研修を受けただけでアライと言えるかどうか。どこまで正確な知識と対処法が自分の中にあるのか。検定とかがあれば分かりやすいが、そういうものはない。自発的に「自分はアライです」と言う人たちを拾い出すぐらいしかできないと思う。登録というところをもう少し、やるかやらないかを含めて、考えていってほしい。私は登録できるものでないと思っている。今後協議して、登録というところを、今後の課題として共有できればと思っている。
山神会長(進行)	・検定的なものがない中でどういうアンケートを取るのか、関係者と相談するのも必要かと思う。 ・令和5年度、数値が出ていないもの、検討が十分できていないものも結構ある。検討していると思うが、できるだけ早急な対応をお願いする。 ・今回出た意見については、事務局から担当課に対してこういった意見が出たと、また、担当課においては、課長、補佐が検討してうまく進めるようにしていただきたと思う。 ・続いて2点目、令和6年度三豊市男女共同参画に関する事業計画について、お願いする。
事務局	・議題資料2説明
山神会長(進行)	・ただ今の説明について、質問や意見があればどうぞ。
瀧本委員	・1つはセミナーのこと。コロナが明けて、来年2月ごろに市民向けの講演会を実施する予定のようである。以前は、女性弁護士とか印象に残る講演会もあった。これまでの講師には芸能人もいたし、幅広く探していると思うが、私の立場からすると、職業を持って子育てしながら頑張っている女性の方がたくさんいる。こういう方たちの話を聞いていろんなことを共有したいという思いが非常に強い。人数が集まらないからとか表面的な問題もあると思うが、もう少し選定を絞って、今回は今言ったような女性、あるいは男性でもいい。子育てを頑張っている若い方とか、講師の選定にはもう少し視野を広げて、後でよかったと思えるような方を選定していただきたい。 ・今年度の全体の予算が少し減っているのではないか。事業が1つなくなっているのではないか。予算の総額はいくらか。もう少しお金を増やしていただきたいとか、ネットワーク会議の企業の研修をもっと活発化してほしいとかいうのはある。予算の推移はどんなか。

議事内容（要旨）	
事務局	・前年度予算額は総額で108万5千円、今年度が69万8千円。昨年に比べて減っているのは、性の多様性とか男女共同参画事業を実施した団体への補助事業を今まで設けていたが、令和2年度以降3か年という時限的なもので取り組んでいた。間でコロナを挟んで1年延びて4年間実施していたが、この事業が廃止ということで減っている。事業に必要な予算はしっかりと確保して進めていきたい。
瀧本委員	・予算の額からしても、先ほどの講演会、おのずと講演者の幅が狭くなる。県からの補助もない状況だと厳しい。あまり面白くない状況になるかと思う。あまりの少なさに驚いた。声を上げていかないとどんどん削られていく。 ・もう1つ、ハラスメント。いろんなハラスメントが起きている。職員教育でハラスメントはお聞きする。講演会でこういった話もいいのではないかな。選択制夫婦別姓とか、今国会で騒がれているような問題になっているような、時期に合ったテーマをいろんな形で取り上げていくことも大事でないかな。プランは5年なので、時世とのズレは出てくると思う。時世にあった姿勢を持っていただきたい。
山神会長(進行)	・セミナー時の選定、講演は1人を迎えてやっていたのか。
事務局	・そうです、はい。
山神会長(進行)	・セミナーのやり方、仕事をしている三豊市内の方を入れつつ、シンポジウムではないが、そういった形も。 ・私も予算は低いなど。これでは大きな事業は難しいかと思う。予算確保は、どういう狙いでこういうお金がかかるということをしっかりとアピールする必要が当然ある。頑張っていたきたい。 ・先ほどの提案もよかれと思っての提案。人が集まることが重要だと思う。人を集めることは大変だが、知恵を出し合って頑張っていたきたい。 ・初めての方、感想でも。久保田さん。
久保田委員	・感想になるが、議題資料1－3の学校教育に関するところで、小中学校の職員がしているところを紹介していただく形でまとめているように思った。本校での人権に関する講演会や学習会において、セクシャルマイノリティの当事者の方に来ていただいた。個別に相談事があるような生徒については、講演会后、時間を取って、別室で当事者の方に子どもたちの思いを聞いていただいたり、アドバイスをもらったりした。そういった中で、我々が十分、気付いてあげられないところをケアしていただいた。男女の性差ではなくて、1人の人間として、1人の子どもとして成長させていくことを引き続き取り組んでいく。
山神会長(進行)	・藤田さん、どうか。
藤田委員	・私に関わっていることで言うと、参加者の問題。認知症カフェに当事者がいかに参加しているか。比率で表すならば、サロンは女性が非常に多い。見守りは圧倒的に男。食改での料理は女性で男性が出席していない。人数だけでも半分ずつにしようとか、増やそうとはしているが、なかなかうまくいかないと感じている。
山神会長(進行)	・外国人関係のことで関わっている高橋さん。

議事内容（要旨）	
高橋（舞）委員	・目標を達成しているものも多いが、そもそも目標値が思っていたより低いと感じている。「男女平等である」と感じる市民の割合はすごく少なく、8割以上が平等でないと感じているのに、何をもって達成なのかが分からない。数値目標の設定が、もう少し高くても感じた。
山神会長(進行)	・北川委員、どうか。
北川副会長	・皆さんの意見を聞くと、作成をしていた時の状況とコロナとか変わってきて、作っていた時には難しかったようなことも、今状況が変わってくる中で、コロナ前に戻せるものは戻していく。セミナーの参加もハイブリッドのような形で、コロナ時の形のものです。生かせるものは生かしつつ、SNSも活用しながら、できるところはやっていただきたい。予算は私も驚いた。 ・今回新たな委員さんで、新たな疑問がある方も、外を見ていると見過ごしてしまうところもあると思うので、ちょっとした疑問も言っていただけると、より良いプランが作れていくと思う。
山神会長(進行)	・大学で広報室長をしているが、広報は非常に重要であるが難しい。全国的に知ってもらいたいというのがあって、SNSはフル活用している。モニター制度を作って、世代を超えていろんな方にモニターになってもらって、この活動についてどう思うかを返信してもらおう。双方向の広報は必要でないか。 ・事業計画、6年度も後半になろうとしているが、成果が見えにくいものもある。市が成果をどう生かしていくか。知恵を出し合って、市民に伝わり、市民の思いを受け取りながら、前に進めていくのが理想的。この協議会も、毎回熱心な討議ができています。いろんな立場の方々、その意見を反映できるように、事務局も少しずつ頑張っていたきたい。 ・以上で、事務局にお返す。
事務局	・挨拶 ・閉会

以上